

「第3期奈良県がん対策推進計画」

全体目標の評価（案）

第3期奈良県がん対策推進計画 評価について

第3期奈良県がん対策推進計画の全体目標の評価を行い、第4期奈良県がん対策推進計画策定に向けての課題と方向性を記載しました。

【評価】

	数値目標あり	数値目標なし 目標値が「増加」「減少」の場合
A	目標達成	目標達成 ※基準値から相対的に 5%以上の改善がある場合
B	目標は達成できていないが、 改善している ※基準値と目標値の差の 30%以上の改善がある場合	
C	横ばい	
D	悪化している ※基準値から相対的に5%以上の悪化がある場合	
E	評価不能	

【評価結果】

・指標の推移および評価（A～E）をもとに第3期奈良県がん対策推進計画の課題と次期計画に向けた方向性について記載。

全 体 目 標

①がんにならない、がんで若い人が亡くならない（がん予防、早期発見、早世防止）

指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価
がんの75歳未満年齢調整死亡率	72.3 (H27)	67.6 (H29)	65.1 (H30)	63.9 (R1)	64.3 (R2)	62.4 (R3)	52.8 (R9)	B

②すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる。

指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価
現在の心身の状態についてからだの苦痛（痛み）があると回答のあった人の割合	17.4% (H29)	—	—	—	21.5% (R3)	—	減少	D
現在の心身の状態についてからだの苦痛（痛み以外の症状）があると回答のあった割合	33.8% (H29)	—	—	—	34.3% (R3)	—	減少	C
現在の心身の状態について気持ちがつらいと回答のあった人の割合	30.5% (H29)	—	—	—	33.0% (R3)	—	減少	D
経済的なことや就労のことなど、生活上の心配があると回答のあった人の割合	27.5% (H29)	—	—	—	28.3% (R3)	—	減少	C
これまで受けた治療に納得していると回答のあった人の割合	88.1% (H29)	—	—	—	88.0% (R3)	—	増加	C
がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減されたと回答のあった人の割合	36.4% (H29)	—	—	—	39.3% (R3)	—	増加	A

③すべての県民ががんを知り、がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる

指標	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	目標値	評価
現在の日本は、がん治療を受けながら、働き続けられる環境だと思うと回答のあった人の割合	29.1% (H29)	—	—	—	33.6% (R3)	—	増加	A
この1年間に自らの健康づくりのためにしたこと								
・がん検診を受ける	31.5%	35.5%	—	34.0%	—	—	増加	A
・たばこを吸わない	55.9%	60.5%	—	57.7%	—	—		C
・塩分を取り過ぎない	48.4% (H29)	52.4% (H30)	—	48.0% (R2)	—	—		C

評価結果

- ・がんの75歳未満年齢調整死亡率は、基準値と比較して減少傾向。本計画策定時、12年後評価としているが、中間目標値（6年後）は61.3と設定しており、未達成であることから現状値を鑑みた目標値の再設定が必要。
- ・がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減されたと回答のあった人の割合は目標達成しているが、現在の心身の状態、これまで受けた治療に納得しているか、生活上の心配に対しての指標は横ばいまたは悪化。
- ・1年間に自らの健康づくりのためにしたこと、たばこを吸わない・塩分を取り過ぎないについては、横ばいであるががん検診については、目標達成。また、がん治療を受けながら働き続けられる環境だと思う人の割合は目標達成。
- ・第4期計画に向けて、3つの全体目標それぞれにあう適切な指標に変更することが必要。